

第一回「清荒神参道俳句大会」

主催 清荒神参道商店会
後援 宝塚商工会議所
俳誌 浮寝鳥社

平成十六年八月四日（水）午後一時
清荒神 清邦文化会館



<応募箱>
参道数ヶ所・清荒神前・駅前 設置
郵送での投句先 〒665-0836
宝塚市清荒神一丁目十一番一号
マルミヤ方
「清荒神参道俳句」係

撰者 板谷 芳浄 (俳人協会)

当季雑詠入選句

佳作 鉄齊の南面に涼をもらひけり (吹田市) 岸上 万智子

佳作 滴りといふ入念に濡らすもの (神戸市) 木村 淳一郎

佳作 参道に水撒き朝の客を待つ (東大阪市) 河野 ふくを

入選 はたた神荒神山にも一湿り (宝塚市) 光田 専太郎

入選 夕暮の風に落ち着く凌霄花 (神戸市) 木村 てる代

入選 沢蟹の何処へいそぐ朝まだき (宝塚市) 皆見 やす子

入選 代田澄みいよいよ青き地球かな (河内長野市) 宮本 武

入選 新緑を天蓋としてカフェテラス (宝塚市) 川上 明好



入選 炎天の中火の神に掌を合はす

(吹田市)

木下 敏子

入選 辻堂に寄進の草鞋竹落葉

(川西市)

高野 清風

入選 試歩伸ばす枝の参道青嵐

(吹田市)

成田 たみ代

入選 参道に古着屋のあり木下闇

(川西市)

亀山 芳翠

入選 蹲ひに沢蟹あそぶ清澄寺

(宝塚市)

北浦 百樂

当日句

佳作 神滝の流れに日の斑光りけり

(大阪市)

金田 八重子

佳作 秋めくや大前に鈴強く引く

(茨木市)

田川 維勢

佳作 人影の絶えし参道水を打つ

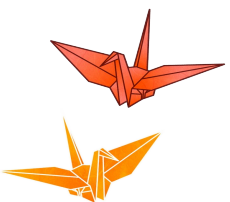
(宝塚市)

高山 剛三

入選 涼風のびんづる様をすべりゆく

(宝塚市)

西部 通子



入選 火の神の煽つてをりぬ蝉しぐれ

(三田市)

吉村 玲子

入選 登山杖売り参道を険しくす

(神戸市)

木村 淳一郎

入選 階も布袋の腹も灼けにけり

(川西市)

山際 かほり

子供俳句

十一才 すいかわり今年はわれた大満足

(宝塚市)

川端 麻友

当日句

荒神の杜に沸き出る雲の峰

拍手の響く境内蝉時雨

(神戸市)

木村 てる代

涼風の出迎へを受くみそぎ橋

境内を統ぶる真白きさるすべり

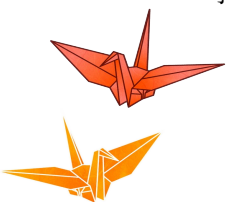
(河内長野市) 宮本 武

台風の影響なしと束子買ふ

荒神の鳥居取り巻く蝉時雨

(西宮市)

大柳 篤子



一杓の水奉る炎暑なほ
行く夏の日を満面に布袋像

(川西市)

高野 清風

不動明王見守る滝の陰イオン
鉄火箸触れた手を引く炎暑かな

(吹田市)

岸上 万智子

重石にくくる日除けの仏具店
谷風を露台に集め冷茶飲む

(吹田市)

成田 たみ代

不動明王座する所は木下闇
参道に赤い鼻緒の盆ぞうり

(川西市)

亀山 芳翠

せみの声参道にしむ四十年

(尼崎市)

岡村 雅之

亡き父母と参らせこしかた百日紅

(尼崎市)

岡村 光永

本堂の舍利塔光る今朝の秋
かなかなの終の声呑む襖橋

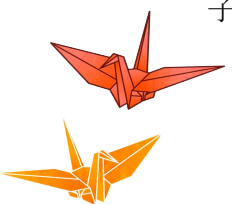
(川西市)

藤谷 あさの

蝉しぐれおしえてほしい天地の差
百日紅修業太師のほほに散る

(川西市)

米原 ミヨ子



緑蔭下石に馴染みし不動明王
鐘一打余韻に散れりさるすべり

(豊中市)

脇本 不二子

大師像の天蓋となり百日紅
亀の子の頭突き上げて甲羅干す

(宝塚市)

光田 専太郎

水涸れの滝壺夏の雲浮べ
水掛けて涼しき一願地藏かな

(吹田市)

木下 敏子

空蟬のしかと荒神さまの樹に
金平糖まきたるやうに百日紅

(神戸市)

長谷川 通子

客に頭見せて老婦の昼寝かな
参道の往来まばらや夏暖簾

(宝塚市)

坂本 梅野

荒神道お休み処の釣葱
さるすべり紅白散りぬ清澄寺

(宝塚市)

北浦 百樂

布袋尊温顔ゆたか迎鐘
勤行の法塔まとう朝のせみ

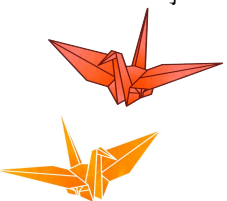
(宝塚市)

山口 きよ子

俳句会どんな顔ぶれ酷暑かな
古今思ひ参道踏みてセミの声

(豊中市)

中川 佐代子



夕涼み老舗参道香ぐわしく
厄払い仏にすがり夏盛り

(宝塚市)

今里 桂司

清澄寺鐘が火を吹く暑さかな
はらからと至福の一夜明け易し

(宝塚市)

尾上 博昭

灼き果てぬ御霊安くと清澄寺
綿津見の声涼風の清澄寺

(宝塚市)

藪内 敬之助

参道の玉垣古し木々茂る
句の席に向かう参道蔭涼し

(宝塚市)

早田 輝雄

樹下人を染むる光や蝉の声
若葉風鳥声揺らし影ゆらし

(西宮市)

木村 久美子

清澄寺の水掛地藏大西日
荒神の亀かさなりて昼寝かな

(宝塚市)

皆見 やす子

